

まちをきれいに きれいになるとうれしいね！
沢端川周辺などの清掃活動



1_清掃活動には約385人のボランティアが参加 2_水がひいた沢端川からごみを拾う参加者。

9月28日、春秋恒例の行事「川干し清掃奉仕活動」が沢端川周辺で行われました。春と秋の沢端川の流れをせき止める恒例の「川干し」に合わせて、平成16年から白石市観光協会と白石商工会議所が共催で行っているこの行事。この日は、市内の企業や団体、個人など約385人が参加し、沢端川周辺約2.5kmを中心に、川沿いや川底のごみを拾ったり、周辺の雑草を刈り取ったりしました。

清掃活動終了後は、協賛企業の(株)ニチレイフーズ白石工場から「焼きおにぎり」、ソニーセミコンダクタ(株)白石蔵王テクノロジーセンターから「豚汁」、仙台ココ・コーラボラダクツ(株)蔵王工場から「飲料水」が参加者全員に振る舞われ、参加者はおいしそうに飲食をしながら、「きれいになって気持ちがいいね」などと、笑顔で話していました。

市内一斉クリーン作戦



9月30日、春秋恒例の行事「市内一斉クリーン作戦」が市内全域で行われました。平成14年から白石市公衆衛生組合と市が共催で行っているこの行事。毎年、春と秋の2回、市民の皆さんがボランティアでごみ拾いに参加されています。この日は、7,612人が参加し、可燃ごみ11,830kg、不燃・粗大ごみ4,420kg、資源ごみ3,990kgの総計20,240kgのほか、タイヤ92本、リサイクル家電42台(テレビ36台・冷蔵庫3台・洗濯機3台)が拾い集められました。「ポイ捨てはしない」を合言葉に、これからもきれいなまちづくりを進めましょう。

白石高校吹奏学部清掃奉仕活動



10月12日、日ごろから部活動を応援してくれる地域に感謝の気持ちを示そうと、白石高等学校吹奏部の部員などが清掃奉仕活動を行いました。この日は、部員とその保護者など約50人が、JR白石駅前から学校までの通学路沿いで、ごみを拾ったり、雑草を取り除いたりしました。清掃奉仕活動は旧白石女子高等学校吹奏部時代から続く恒例行事。定期演奏会などに商店街から協賛を受けるなど、応援してくれている地域に恩返ししようと、毎年行っています。参加者は早朝から集まり、感謝の気持ちを込めて清掃活動を行っていました。

市民吹奏楽団と市内中学、高校の吹奏楽部の団員総勢約140人が出演
響け！ 復興のハーモニー 白石城下町コンサート



▲ラストは式典のための行進曲「栄光をたたえて」を合同演奏。会場がひとつになり沸いた

10月14日、「白石城下町コンサート」(白石市民吹奏楽団主催)がホワイトキューブで開催されました。コンサートには、白石、東、福岡の3中学校、白石、白石工業の2高等学校の吹奏楽部の生徒と、白石市民吹奏楽団の団員総勢約140人が出演。単独演奏ステージでは、それぞれが2～3曲を披露しました。スペシャルステージには、東京都世田谷区ジャズバン

ド「ドリーム・ジャズ・ビッグ・バンド」が3年連続で駆け付け、白石の中高生と共演！ ラストステージは、4曲を合同で演奏し、500人を超える来場者は、世代を超えた楽しい演奏に聴き入っていました。5回目の今年も東日本大震災からの復興支援を掲げ、会場で募金への協力を呼び掛け！ 集まった募金は市に全額寄付されました。

鉄道ファンや家族連れでにぎわう
鉄道の日記念 白石蔵王駅「鉄道の日」イベント



1_左から東海林正年白石蔵王駅長、島奏和1日駅長 やまびこ号の先頭で右手を高く上げて出発を合図！ 2_大人気のミニ新幹線体験乗車会

10月14日、「鉄道の日イベント」が東北新幹線・白石蔵王駅で開催されました。ホームでは、新幹線通過列車見学と新幹線に手を振り隊と題したイベントが行われ、はやぶさ号やスーパーこまちに詰め掛けた約250人が笑顔で手を振りながらお出迎え。また、1日駅長に任命されたひかり幼稚園の島奏和くんの「出発進行！」の合図で出発式などが行われました。

駅前広場や駅コンコースでは、ミニ新幹線の体験乗車会、紙とハサミで作る新幹線ペーパークラフト教室、電車や新幹線の写真がいっぱいの鉄道写真展、さまざまな新幹線のスタンプを集めると記念品がプレゼントされるスタンプラリー、ポップコーンの無料プレゼントなどが行われ、家族連れなど550人を超える多くの人たちでにぎわいました。